

様式第10号（第2条関係）

地域医療支援病院業務報告書

令和6年10月3日

岩手県知事 達増 拓也 様

開設者

住 所 岩手県盛岡市内丸11番1号

氏 名 岩手県

代表者 県立病院等事業管理者  
医療局長 小原 重幸

医療法第12条の2の規定により、岩手県立宮古病院の業務報告について次のとおり提出します。

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院（診療所）に対する患者紹介の実績

地域医療支援病院 紹介率	69.7%	算定 期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
地域医療支援病院 逆紹介率	107.9%		
算出 根拠	A：紹介患者の数	2,824人	
	B：初診患者の数	4,054人	
	C：逆紹介患者の数	4,373人	

(注)1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注)2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注)3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

2 共同利用の実績（別紙1）

### 3 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	3,101人 (1,286人)
上記以外の救急患者の数	5,282人 (730人)
合計	8,383人 (2,016人)

(注)それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。  
括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

#### 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

#### 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	2床
専用病床	0床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

### 4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績 (別紙2)

### 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 (別紙3)

### 6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績 (別紙4)

### 7 医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績 (別紙5)

### 8 患者相談の実績 (別紙6)

(別紙1)

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）の実績

1 共同利用の実績

医療機械	コンピューター断層撮影装置 182件 （すべて開設者と直接関係のない医療機関） 磁気共鳴断層撮影装置 291件 （すべて開設者と直接関係のない医療機関） 核医学検査装置 15件 （すべて開設者と直接関係のない医療機関） 心臓超音波診断装置 2件 （すべて開設者と直接関係のない医療機関） 頸動脈超音波診断装置 9件 （すべて開設者と直接関係のない医療機関） X線骨密度測定装置 46件 （すべて開設者と直接関係のない医療機関） 脳波検査装置 7件 （すべて開設者と直接関係のない医療機関） 下肢静脈超音波診断装置 1件 （すべて開設者と直接関係のない医療機関）
研修・研究会	地域公開研修会 4回、延べ 61名 医師会合同カンファレンス 9回、延べ81名
病床利用率	0%

注) 当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率等を明記すること。

2 共同利用の範囲等

施設	医療器械、生理検査室、大会議室、イベントホール、地域医療福祉連携室、医療相談室、栄養相談室
備品	パソコン、プロジェクター、ディスプレイ

注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用を行ったものを明記すること。

### 3 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
佐藤雅夫クリニック	佐藤 雅夫	宮古市保久田 4-7	外科	無
豊島医院	豊島 秀浩	宮古市和見町 8-30	外科、小児科	無
林整形外科・内科医院	林 節	宮古市西町 3-3-7	内科、整形外科	無
後藤泌尿器科皮膚科医院	後藤 康文	宮古市大通 1-3-24	泌尿器科、皮膚科	無
国保田老診療所	橋本 祥弘	宮古市田老三王 1-1-3	内科	無
金沢内科医院	金澤 英夫	宮古市磯鷄沖15-20	内科	無
おおうち消化器科クリニック	大内 健	宮古市館合町 1-8	消化器内科	無
岩間耳鼻咽喉科医院	岩間 充	宮古市西町 2-2-3	耳鼻咽喉科	無
三陸病院	三浦 正之	宮古市板屋 1-6-36	精神科	無
国保川井診療所	河合 誠司	宮古市川井第2地割169-5	外科	無
関根内科小児科医院	関根 英雄	宮古市大通 4-2-21	小児科	無
済生会岩泉病院	恩賜財団済生会	岩泉町岩泉字中家19-1	内科	無
近藤医院	近藤 晃弘	山田町飯岡 9-23-1	内科、整形外科	無
おかだ外科内科クリニック	岡田 伸之	宮古市実田 2-5-10	外科	無
県立山田病院	岩手県知事	山田町飯岡第1地割 21-1	内科、外科	有
大久保・熊坂内科医院	大久保 仁	宮古市和見町10-31	内科	無
川原田小児科医院	川原田 隆司	宮古市小山田 2-7-72	小児科	無
奥脳神経外科クリニック	奥 達也	宮古市保久田3-10	脳神経外科	無
岩見神経内科医院	岩見 億丈	宮古市大通一丁目5-2	脳神経内科	無
木澤内科・脳神経内科クリニック	木澤 英樹	宮古市栄町2-5	脳神経内科	無
さかもと眼科クリニック	坂本 真栄	宮古市向町 4-41	眼科	無
ふじたファミリークリニック	藤田 敦	宮古市向町 2-30	内科、消化器内科	無
松井内科医院	松井 忠宣	宮古市新町 4-31	内科	無
やすみ整形外科クリニック	安見 雄司	宮古市黒田町 7-10	整形外科	無

注) 当該医療機関と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入する一こと。

常時共同利用可能な病床数	5床
--------------	----

(別紙2)

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の内容

地域公開研修会

開催予定(12回/年)であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止及び参加希望者少数により開催できたのは以下の4回。

第1回 摂食嚥下の基礎知識・食事介助、第2回 高次脳機能障害 半側空間無視、第3回 誤嚥のリスク管理、第4回 もっと知りたい脳卒中(オンライン開催)

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	4回
(2) (1)の合計研修者数	61人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無 有・無

(2) 研修委員会設置の有無 有・無

(3) 研修指導者

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
	医師				研修責任者
	医師				
	医師				
	医師				
	医師				
	看護師				
	看護師				
	看護師				
	看護師				

注)教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
大会議室（2階）	116.2m <sup>2</sup>	(主な設備) パソコン、プロジェクター、ディスプレイ、音響装置、テレビ会議システム
イベントホール（地階）	196.1m <sup>2</sup>	(主な設備) パソコン、プロジェクター、ディスプレイ、音響装置
	m <sup>2</sup>	(主な設備)
	m <sup>2</sup>	(主な設備)
	m <sup>2</sup>	(主な設備)
	m <sup>2</sup>	(主な設備)
	m <sup>2</sup>	(主な設備)

(別紙3)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	
管理担当者氏名	

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌, 各科診療日誌, 処方せん, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写真, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		電子カルテシステム カルテ倉庫 地域医療福祉連携室 診療情報管理室	患者別分類 診療科別分類 年度別分類
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療福祉連携室	
	救急医療の提供の実績	地域医療福祉連携室	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	総務課	
	閲覧実績	地域医療福祉連携室	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療福祉連携室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(別紙4)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	
閲覧担当者氏名	
閲覧の求めに応じる場所	地域医療福祉連携室

前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者名	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

(注)閲覧件数については、前年度の総延べ数を記入すること。



(別紙5)

医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4回
委員会における議論の概要	
<ul style="list-style-type: none"><li>・患者数の動向について</li><li>・紹介患者・逆紹介患者の状況について</li><li>・地域連携検査予約の状況について</li><li>・医科歯科連携・NST介入状況について</li><li>・住民健康講座等開催について</li><li>・登録医の状況について</li></ul> <p>※6月、8月、11月、3月開催（うち8月は新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し書面開催にて実施。）</p>	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(別紙6)

患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他(各病棟面談室)
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	医療社会事業士 3名
患者相談件数	2,967件
患者相談の概要	
<p>○問題別件数(延べ件数) 経済 123件、医療福祉制度 236件、医療・保健等 47件、環境 120件、退院・社会復帰 316件、その他 70件</p> <p>○援助内容(延べ件数) 諸制度手続き 97件、情報収集・提供 436件、方針協議 18件、心理的援助 34件、連絡・調整 286件、施設機能説明 0件、その他 20件、関係機関紹介 2件</p> <p>※ケース対応件数と一般相談件数を患者相談件数として計上している。 問題別件数、援助内容については、ケース対応件数の延べ件数で計上しているため、相談件数と一致しない。</p>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価を行った機関名、評価を受けた時期</li> <li>○ 平成17年3月 新規認定（4.0）</li> <li>○ 平成22年6月 認定更新（6.0）</li> <li>○ 平成27年4月 認定更新（3rdG：Ver.1.0）</li> <li>○ 令和2年3月 認定更新（3rdG：Ver.2.0）</li> </ul>	

(注)医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信の方法、内容等の概要</li> <li>○ 外来診療体制案内の定期送付（毎月）</li> <li>○ 地域医療福祉連携室広報誌「Baton」発行、送付（四半期ごと）</li> <li>○ 病院ホームページへの情報掲載（随時）</li> <li>○ 臨床研修委員会のX（旧Twitter）（随時）</li> </ul>	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院調整部門の概要</li> <li>病棟にて入退院支援を行う専任の看護師4名、専従の医療社会事業士1名を配置。</li> <li>各病棟看護師との退院支援に関するカンファレンスを行っているほか、ケアマネージャー等介護保険サービス事業所等と連携を行い、円滑な在宅復帰ができるよう支援、調整を行っている。</li> <li>○ 令和5年度入退院支援加算算定：1,984件</li> <li>○ 令和5年度介護支援連携指導料算定：413件</li> </ul>	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容</li> <li>「大腿骨頸部骨折」</li> <li>・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み</li> <li>連携医療機関・関係機関による「地域連携パス運用会議」を年3回開催し、運用状況の確認、連携パスの改善に努めている。</li> </ul>	